

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和02年12月23日

計画の名称	松戸市下水道整備計画											
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）											
交付対象	松戸市											
計画の目標	下水道未普及地区の整備により、安全で快適な都市環境を創出する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	7,254	A	7,254	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0%

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値			
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	R3 当初	R5 末	R7 末					
1	下水道処理人口普及率を87%（R3当初（見込））から94%（R7末）に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用する人口（人）/行政人口（人）×100	87%	90%	94%				

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靭化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—

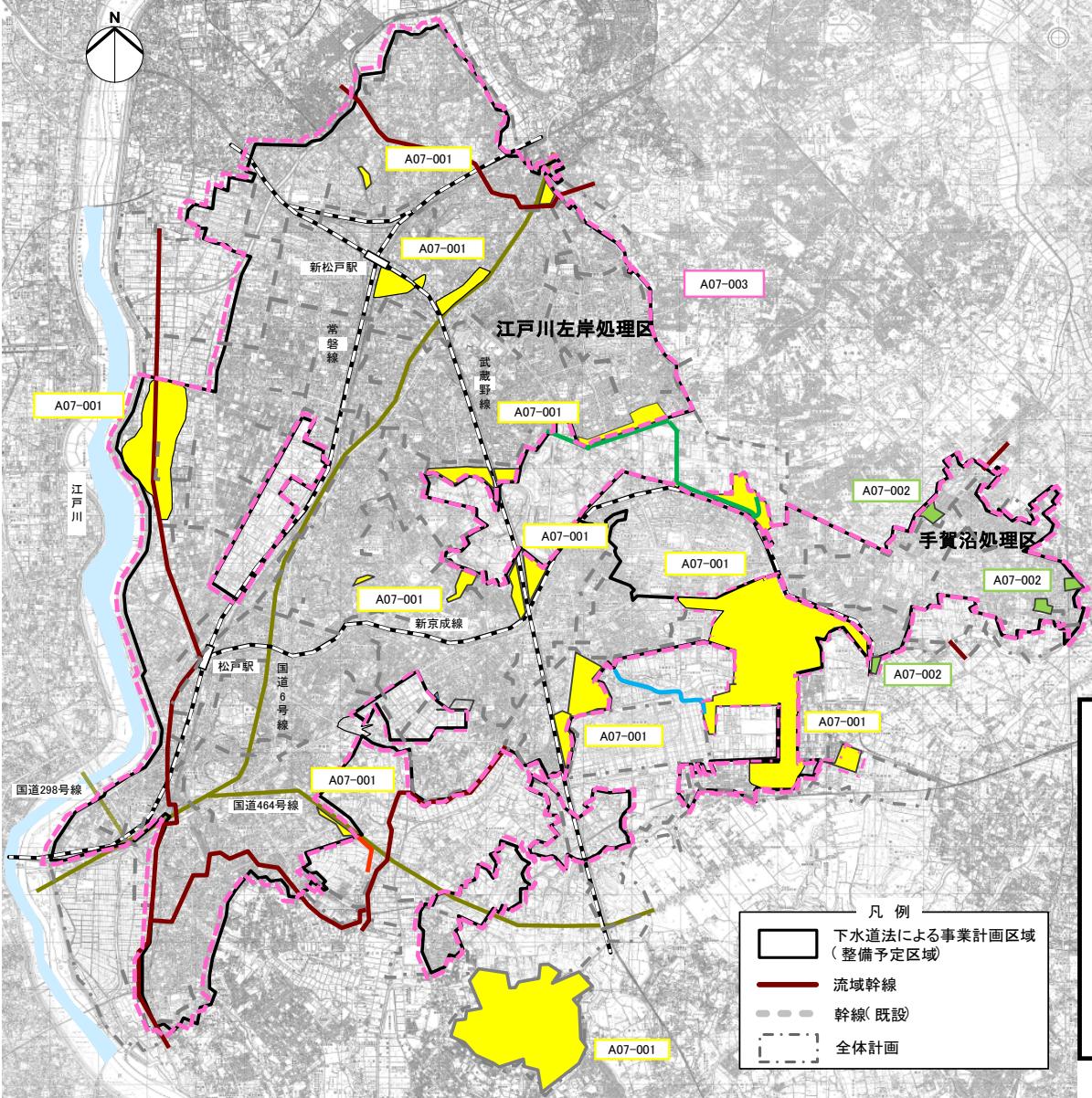
A 基幹事業																		
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度）			全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	
		一體的に実施することにより期待される効果											R03	R04	R05	R06	R07	
		備考																
下水道事業	A07-001	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	管渠（污水）	新設	江戸川左岸処理区 主要な管きょの新設	φ200～350mm	松戸市	■	■	■	■	■	7,080	—
		通常の下水道事業																
	A07-002	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	管渠（污水）	新設	手賀沼処理区 主要な管きょの新設	φ200mm	松戸市			■	■		150	—
		通常の下水道事業																
	A07-003	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	—	—	広域化・共同化	調査・設計・計画策定	松戸市			■	■	■	24	—
		広域化・共同化事業																
											小計						7,254	
											合計						7,254	

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R03	R04	R05	R06	R07
配分額 (a)	575	490	676	458	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	575	490	676	458	
前年度からの繰越額 (d)	0	243	184	326	
支払済額 (e)	332	549	534	543	
翌年度繰越額 (f)	243	184	326	241	
うち未契約繰越額 (g)	24	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	4%	0%	0%	0%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	—	—	—	—	

※ 令和3年度以降の各年度の決算額を記載。

計画の名称	松戸市下水道整備計画
計画の期間	令和3年度～令和7年度（5年間）
交付対象	松戸市
 <p>整備予定箇所の色分け</p> <ul style="list-style-type: none"> 古ヶ崎・前田汚水幹線(新設) 北山汚水幹線(新設) 大橋第3号汚水幹線(新設) 江戸川左岸処理区(新設) 手賀沼処理区(新設) 広域化・共同化 <p>凡 例</p> <ul style="list-style-type: none"> 下水道法による事業計画区域（整備予定区域） 流域幹線 幹線(既設) 全体計画 	

事前評価チェックシート

計画の名称： 松戸市下水道整備計画

事 前 評 価		チェック欄
I. 目標の妥当性	1) 上位計画等との整合性	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性	東京湾流域別下水道整備総合計画、利根川流域別下水道整備総合計画、松戸市公共下水道全体計画、松戸市総合計画と整合を図っている。	
I. 目標の妥当性	2) 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性	関連する各河川及び湖沼の浄化計画等と整合を図っている。	
II. 計画の効果・効率性	1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	定量的指標の向上により、整備計画の目標が達成される。	
II. 計画の効果・効率性	2) 定量的指標の明瞭性	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	計画の成果目標（定量的指標）とする数値が市民にとって分かりやすいものになっている。	
II. 計画の効果・効率性	3) 目標と事業内容の整合性	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	事業実施により適切に計画の目標値が達成出来る。	
II. 計画の効果・効率性	4) 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	各効果促進事業により交付対象事業の事業効果が向上する。	
III. 計画の実現可能性	1) 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性）	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	事業執行にあたり地域住民等への説明会を行い、事業実施の確実性を確認している。	
III. 計画の実現可能性	2) 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	<input type="radio"/>

事 前 評 價

チェック欄

III. 計画の実現可能性

区画整理事業等の関連事業との連携により相乗効果・波及効果が得られるものになっている。住民や民間事業者の協力が得られるものになっている。